

□議員名：藤岡 修美

1 文化・スポーツによるまちづくりの推進について

論点	市民体育大会の総合開会式の復活について聞く。
回答	以前、体育の日に、市民体育大会の総合開会式を市サッカー場等で開催していたが、体育の日は、市主催の市民ふれあいスポーツ大会等、市民体育大会以外の行事もあり、総合開会式を復活しても参加者が少ないため、総合開会式の復活は行わない。

論点	施設の命名権導入等、地域の企業が地域のスポーツを支援するような仕組みづくりはできないか。
回答	施設命名権の導入については、自主財源の確保という点で非常に重要な手法であり、全市的に展開を考えているが、地域の企業が地域のスポーツを支援するそういう取り組みも進めていきたいと考えている。

論点	スペイン水泳チームのキャンプ地が山口市に決定したが、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取り組み状況はどうか。
回答	パラリンピックのパラサイクリング競技の日本ナショナルチームの誘致を図っていきながら、障害者スポーツへの理解を深め、障害者スポーツを推進していきたいと考えている。

論点	本市には総合型地域スポーツクラブとして、すげえちや・高泊と出合いちょうクラブの2つがあるが、新しいクラブの設立はどうか。
回答	総合型地域スポーツクラブについては、推進委員や市の職員が新しいクラブの設立に向けて努力をしているが、今後ともしっかりと進めていく。

論点	かるた競技にとどまることなく、山陽小野田市百人一首を編さんする等、短歌によるまちづくりにまで展開していくのはいかがか。
回答	山陽小野田市かるた協会、かるたクイーン、小野田高校のかるた部

	等で連絡協議会を設立し、かるた競技の振興を進めていきたいと考えている。短歌によるまちづくりについても、協議会で議論をしていきたい。
--	---

論点	第二次総合計画の重点施策に文化・スポーツの振興が上がっているが、今後どのように取り組んでいくのかを聞く。
回答	本市の地域性、独自性を含んだ事業、ガラスのまち、かるたのまち、レノファに会えるまち、パラサイクリングのまちということで文化・スポーツの振興により、まちづくりの展開を図っていきたい。

2 市民活動支援センター整備について

論点	本市における市民活動支援センターの整備計画の経緯について聞く。
回答	市民活動支援センターの設置について盛り込んだ山陽小野田市市民活動基本方針を策定したが、公民館等の施設を利用して十分活動できているということで、新たな施設としての市民活動支援センターは設置しないという結論に至った。

論点	市民活動支援センターの取り組みに成功している他市の状況把握について聞く。
回答	市民活動支援センターが設置されている市は9市あり、今後の設置計画のある市を含めると11市になる。うまく機能していると思われる市は3市あるが、中でも山口市は先行してさまざまな取り組みをしている。

論点	本市の市民活動支援センター整備の今後の展望について聞く。
回答	新たな施設としては設置しないが、地域づくりを推進するために市民活動支援センターが行う、あるいは求められる機能、これを現在の市民生活課の中で行うことができないか検討している。他市を参考に、情報発信に力を入れていく。

論点	市民活動支援センターの整備は、協創のまちづくりにつながると思うが、市長は市民活動支援センターをどのように理解しているか。
回答	大切なのは目的だと思う。センターのあるなし、ハード面は手法の手段になるので、その目的をしっかりと捉えて進めていきたいと思う。